
真っ白なスケッチブック

後藤詩門

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真っ白なスケッチブック

【Nコード】

N9164E

【作者名】

後藤詩門

【あらすじ】

笑顔の記憶しかない幼き日、熱き血潮の青年期、そして悩み苦しむ壮年時代……思い出は色々。さて、これからどうしよう？

真っ白なスケッチブックがあるとして

君はまず何色なにいろの絵の具を塗るんだい？

あの頃の君は

底抜けに明るい笑顔がまぶしかったね

鮮やかな黄色……

そう、河川敷に咲く菜の花みたいな

南国のフルーツ、バナナみたいな

鮮やかなまでの黄色が似合う

真夏の光を追いかける

向日葵みたいなビタミンカラー

君のピュアな魂は

さかあがりの練習をした

あの鉄棒のある小さな公園で

いつまでも輝きを放っているよ

君の心のスケッチブックに

黄色の絵の具をたっぷり塗ろう

真っ白なスケッチブックがあるとして

君はまず何色の絵の具を塗るんだい？

あの頃の君は

果てしない希望を胸に、輝く未来を見つめていたね

情熱の赤色……

燃え盛るキャンプファイヤーの炎のような

横道を進む天空の支配者、太陽のような

そう、情熱の真紅がよく似合う

天高く秋の空から舞い落ちた

紅葉の絨毯踏みしめて行く

君のまつすぐな瞳

どんなことだって畏れない

前だけを見て歩いていた、若かりし頃

永遠というものが、必ずあると信じて……

君の心のスケッチブックに

赤色の絵の具をたっぷり塗ろう

真っ白なスケッチブックがあるとして

君はまず何色の絵の具を塗るんだい？

あの頃の君は

迷子になった幼子おさなこのよう

戸惑いの青色……

全てを押し潰す深海の色のような

あるいは全てを突き放す上空1万メートルの空のような

寒々と冷たい、ラピスラズリみたいな青色がよく似合う

木枯らし吹く真冬の曇り空

明日はどっちだ？ と君は見失っていたね

はり裂けそうな君の心は

慌ただしい社会の真ん中で叫んでいた

なんのために僕は生きる？ と

迷子の君は泣きながら、いつまでも叫んでいたんだ

君の心のスケッチブックに

青色の絵の具をたっぷり塗ろう

真っ白なスケッチブックあるとして

これまで塗ってきた絵の具たちは

君の心をいろんな色で染めてきたね

楽しかった少年時代

野心溢れる青春時代

悩み苦しむ壮年時代

いつの時代に生きようとも

幾つもの色が君と共にあった

24色の絵の具じゃ足りないくらい

たくさん思い出は、たくさん力をくれる

さあ、これからどうしよう？

君は何色の絵の具を塗るんだい？

ずいぶんスペースは減ったけど

君の心のスケッチブックには

まだまだ、残っているんじゃないのかな

そう、真っ白な余白のページが

次の色を塗って欲しくて

君の絵の具を

待っているんだ

さあ、始めようよ！

次の絵の具を筆にのせ

さっと一塗り描いてみよう

必ずあるはずだよ

君をワクワクさせる

最高の配色がきつとどこかに……

君の人生というスケッチブックは

まだ終わってはいないのだから

きつと、これから

きつと、どこかに

最高の人生が待っている

僕はそう信じたんだ……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9164e/>

真っ白なスケッチブック

2010年12月19日05時55分発行